



成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	歯科技工においては高度な技術が必要であるため、外部業者に発注することになるが、その成果品をもって治療を行い、その結果として診療報酬を請求することとなるため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	32751	34783	0	0
実 績	35246	36043	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	歯科診療を実施するうえで歯科技工の外部発注は必要であるが、歯科技工士の技術力にあった発注を行なうとともに、簡易な技工については診療所行なうなど経費の削減に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	歯科診療を実施するうえで、精度の高い歯科技工の外部委託は必要であるが、簡易な技工については診療所で行なうなど経費の削減に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題